

岩手県代協かわら版



平成29年度
第8号
発行日
2017.10.20

〒020-0025 盛岡市大沢川原3-1-2 盛岡浴友会館2F
一般社団法人 岩手県損害保険代理業協会
TEL (019) 613-7979 FAX (019) 613-7989



セミナーを開催しました。

日時：10月6日（金）午後3時～ 会場：盛岡マリオス



【セミナーの様相】

日本代協アドバイザー・損保協会シニアフェローの栗山泰史氏と全国損害保険代理業政治連盟会長の大藪邦嗣氏を迎えてマリオス18階会議室にて岩手県代協セミナーを開催しました。保険会社社員を含め41名が参加しました。

第1部の大藪講師は「銀行窓販や郵便局の損保販売への参入などは放置すれば契約者の利便性を損ね、損保代理店の仕事に重大なダメージを生じかねない。顧客保護と業界の健全な発展のためには政治に関わらざるを得ず、政治家の力も借り、行政を動かして一定の規制を課していく必要がある」と強調、「政治連盟に理解と協力をお願いしたい」と訴えた。

第2部の栗山講師は、過去の自由化によって代理店の仕事が大きく変わった経緯に触れながら、今回の保険業法改正の意図を詳細に報告した。

比較推奨販売の乗合代理店と一般企業とみなされる代理店に要求される体制整備や不断の業務改善・能力の向上の重要性が明確になったことを強調しました。

今は施行されたばかりで要求されているのは最低限のレベル。これから年を追うごとに、高いレベルを要求される。保険会社の支援を受けて発展してきた保険代理店が、より独立した高いレベルの業務遂行能力を備えた一般企業へと変わらなければ生き残れない、と強調した。



【栗山講師】



【大藪講師】

<写真撮影者：舘洞 直人>